エコマーク商品類型No.５１３「ケミカルリサイクルプロセスによる廃棄物等の化学原料化プラントおよびその化学製品Version1」付属証明書(案)

本付属証明書は、エコマーク商品類型No.５１３のエコマーク使用申込を行う際に、提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申込日：２０ | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 申込ブランド名 |  | | | | | | |
| 申込者名  (会社名) |  | | | | | | |

|  |
| --- |
| ＜付属証明書の作成方法＞  1．太枠内の「記入欄」に必要事項をまたは記入して下さい。  2．「添付証明書」欄には、提出が必要な書類が記載されています。  記入表〇と記載のある添付証明書についてはひな型が付属証明書以降に収録されています。  また、それぞれの書類の発行者は「添付証明書の発行者」欄をご確認下さい。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 記入欄／添付資料　該当する事項をチェックして下さい |
| エコマーク表示（予定）の媒体について記載下さい。  ※原則として容器、取扱説明書、商品説明書（パンフレットなど）等にエコマークを表示すること | 表示媒体： □プラント(外観)　／　□製品仕様書、納入書等  □リサイクル由来の化学製品の搬送容器  □広告宣伝物（パンフレット、ウェブサイト）  □その他【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 |
| エコマーク表示見本  ※エコマークの表示方法は「エコマーク使用の手引」を参照下さい | エコマーク表示予定設計図(書式自由・原稿)をご提出下さい。  ※｢[エコマーク表示見本](https://www.ecomark.jp/zip/EMdesign.zip)｣の画像をご活用下さい    ・エコマーク認定番号または使用契約者名の表示  （両方を表示することも可）  ・「化学製品」は実際の化学物質名を記載することも可  ・認定対象が明確になるように、エコマークとともに表記すること。  エコマーク認定ケミカルリサイクルプラント  エコマーク認定化学製品 |
| エコマークを表示しない（予定）場合はその理由を右欄に記載下さい | 【表示無しの理由】 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 記入欄／添付資料　該当する□にチェックを入れて下さい | | |
| 2.適用範囲 | [ケミカルリサイクルプラントの種類]  モノマー化　／　ガス化　／　油化　／　その他【　　　　　　　　　】  [主な廃棄物等の種類（例：廃プラスチック、PETボトル、廃衣料品、廃タイヤ]  　【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】  [認定対象の化学製品（リサイクル由来）]  　【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】  [申込プラント(接続された一連のプロセスを申込に含む場合には、そのプロセスを含む)内での管理方法]  セグリゲーション方式　／　マスバランス方式  [接続する一連のプロセス(同一事業者、同一敷地内)]  申込に含まない　／　申込に含む | | |
| 「現地確認」の実施希望日時について 　※電子申請システムにて申請をしない場合にはご記入下さい | | | |
| 実施状況の確認のため、審査時に現地確認（オンラインを含む）を実施します。原則、申込日（原則、毎月15日が申込締切日）から申込翌月の第1週目までの間で、「現地確認」の実施希望日時をご記入ください。実施日は、申込者とエコマーク事務局で調整のうえ決定いたします。 （実施時間は、2時間程度を想定） | | | |
| 第1希望 | | 月      日（   　曜日） | 時～　  　時 |
| 第2希望 | | 月      日（   　曜日） | 時～　  　時 |
| 第3希望 | | 月      日（   　曜日） | 時～　  　時 |

「4．認定の基準と証明方法」を満たすために必要な証明書類

4-1．環境に関する基準と証明方法

| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書の発行者 |
| --- | --- | --- | --- |
| 4-1-1.(1)  ケミカルリサイクルプロセスと原料調達の管理 | 申込プラントは、プラスチック、合成繊維および合成ゴムなどの廃棄物等の化学原料化を目的とするケミカルリサイクルプロセスを有する  はい　／　いいえ | ①申込プラントのケミカルリサイクルプロセスの説明  ②投入原料、製造される化学製品を説明する資料 | 申込者 |
| ケミカルリサイクルプラントに投入する廃棄物等の受入基準や体制が整備され、適正に管理している  はい　／　いいえ | ①受入基準（廃棄物等の素性・性状を含む）  ②原料供給事業者のリストおよび各事業者との契約状況  ③廃棄物等の発生源に関する情報、法令順守に関する確認状況  ④受入時の確認および記録（受入内容・量、手順、管理体制等）  ⑤受入基準等の変更時の取扱い、帳票類の保管等に関する書類 | 申込者 |
| 4-1-１.(2)  物質収支／  エネルギー収支の把握 | 申込プラント全体の物質収支およびエネルギー収支を把握し、効率のよい運用に努めている  はい　／　いいえ | ①プロセスフロー図  ・投入する廃棄物等、それ以外の原料、燃料、および生産される化学製品（排出物を含む）  ・プラントを構成する装置  ・プラントにおける化学的処理、または物理的処理の内容（化学的処理に伴う反応式も含む）  ②申込プラントの物質収支（生産される全ての化学製品、または排出物を含む）  ・エネルギー収支、各化学製品の販売・出荷量等の実績（直近1年間程度） | 申込者 |
| 化学原料化率 | 廃棄物等の化学原料化率を算定し、実績値が理論値の50%以上になるように管理している  はい　／　いいえ  実績値等の文書類は5年間(以上)保管し、事務局から要請があった場合には提出できる  保管していない | 直近1年間の実績値を示すとともに、理論値（技術的限界値、根拠となる説明資料を含む）との化学原料化率の評価結果 | 申込者 |
| 4-1-１.(3)  製品ライフサイクル全体の気候変動への影響 | 申込プラントから生産されるリサイクル由来の化学製品については、製品ライフサイクル全体の気候変動への影響（すなわちGWPによってCO2換算した温室効果ガス排出量）が、代替しようとする化学製品を生産する一般的なプロセスと比較して増加しないことをLCAによって確認している  はい　／　いいえ  [実施方法]  ライフサイクルアセスメント（ISO 14040およびISO 14044）に準拠して実施  カーボンフットプリント（ISO 14067）に準拠して実施  その他[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]  [第三者によるLCA結果]  検証機関名等[　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　] | 第三者によるLCA評価の結果（CO2換算）を説明した文書（算定条件の概要を含む）の提出 | 第三者機関等 |
| 4-1-1.(4)  リサイクル由来特性の割当率、材料含有率 | [マスバランス方式]  化学製品へのリサイクル由来特性の割当量・率が適正に維持管理され、第三者による監査または認証（トレーサビリティ認証制度など）が行われている  はい／いいえ／マスバランス方式でない(対象外) | 第三者による監査または認証を受けていることを証明する資料（監査報告書、認定証の写しなど） | 申込者・第三者機関 |
| セグリゲーション方式で生産する場合にあっては、化学製品のリサイクル材料含有率を適正に管理している  はい／いいえ  セグリゲーション方式ではない(対象外) | リサイクル材料含有率の管理方法および根拠資料 | 申込者等 |
| 4-1-1.(5)  製品仕様書 | 申込プラントで生産されたリサイクル由来の化学製品の出荷・取引毎(または一定期間毎における）に、使用している廃棄物等の種類、リサイクルの手法、出荷量、組成および配合率（または割当率）等を記した製品仕様書等を販売先に発行している  はい　／　いいえ | 製品仕様書等(実際に発行したもの(代表1点以上)または、ひな形でも可)  および、発行実績の一覧表？ | 申込者 |
| 4-1-2.(6)  申込プラントから発生する排出物 | 申込プラントから発生する排出物は、可能な限り再資源化している  はい　／　いいえ  再資源化できない部分は法令に従って適正処理している  はい　／　いいえ  本項は、廃棄物等の受入後の物理選別工程等、および申込プラントに接続されたプロセス（申込に含める場合に限る）からの排出物についても本項は適用される | 排出物の種類、再資源化された量（前年度の実績値）および用途、再資源化できない部分についての処理・処分の体制が整備されていること（処理能力、処理内容など）の説明文書 | 申込者 |
| 4-1-2.(7)  環境法規等の順守 |  | 記入表５１３-1 | 工場長 |
| 4-1-2.(8) | |  |  | | --- | --- | | 工程等 | 該当有無 | | 廃棄物等の保管 | 原料として使用する廃棄物等を工場内で保管する工程が  ある　／　ない | | 排ガスの発生 | 申込プラントの処理工程で排ガスが発生する  はい　／　いいえ | | 汚水の発生 | 申込プラントの排ガス処理工程等において汚水が発生する  はい　／　いいえ | | 粉じんの発生 | 原料となる廃棄物等を処理する破砕機等で粉じんが発生する工程  ある　／　ない | | 該当する工程ごとに実施内容を示す資料を提出(認定基準書の表1の要件に合致していることを示す資料) | 申込者 |
| 4-1-3.(9)  ウェブサイト等での情報公開 | 以下項目を情報公開している  ウェブサイト  サステナビリティ報告書等  その他【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】   |  | | --- | | ＜情報公開が必要な項目＞  ・投入される原料（主な廃棄物等。例えば、廃プラスチックなど）  ・ケミカルリサイクルプラントの種類（モノマー化、ガス化、油化等）およびプラントの概略図  ・ケミカルリサイクルにより生産される化学製品または想定する最終製品群の例示  ・資源循環やカーボンニュートラルに寄与することの説明  ・トップマネジメントによる環境に配慮した事業経営に関するコミットメント　など | | 情報公開の内容が分かる資料（ウェブサイトの写し等） | 申込者 |
| 4-1-3.(10)  消費者との環境コミュニケーション | 実施している内容に、チェックを入れて下さい。  A：工場への見学者の受け入れ（ケミカルリサイクルに関する内容を含むもの）  B：環境をテーマとした催し物や住民向けのイベント・出前授業など（ケミカルリサイクルに関する内容を含むもの）  ※地方公共団体、環境団体等が主催する催し物やイベントに出展・参加することでもよい  C：ケミカルリサイクルプラントの原料を回収する拠点の設置、回収キャンペーンの実施など  D：周辺地域の環境保全活動（清掃、生き物の生息地の整備、自然保護など）  E：環境に関する基金の設置または寄付、環境団体の支援など  F：その他【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 | 開催実績および取り組み内容が分かる説明資料（写真などを添付） | 申込者 |

4-2．マスバランス方式による化学製品等への表示に関する基準と証明方法

| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい | 必要な添付証明書 | 添付証明書の発行者 |
| --- | --- | --- | --- |
| 4-2.(11)  表示等 | ［環境情報の表示］  リサイクル由来特性を割り当てた化学製品の環境情報の表示は、環境省「環境表示ガイドライン」を順守している  順守していない |  |  |
| 1) エコマーク認定の理由が、正しく消費者に伝わるように情報を付記している  はい　／　いいえ   |  | | --- | | 例 「リサイクル由来特性を〇%割り当てた○○を使用」  「リサイクル由来特性を〇%割り当てた○○を使用 （マスバランス方式）」  【表示×の例】  リサイクル材料が実配合されていると誤認される可能性のある表記は行わないこと。  ・リサイクル材料を「使用」または「含む」等の実配合を想起する表現  ・再生プラスチック含有率〇%　など | | 製品、包装、ウェブサイトまたはカタログ等 | 申込者 |
| 2) マスバランス方式で管理された同一製品群のうち、リサイクル由来特性の割当を行っていない製品に、リサイクル材料が含有する等の主張をしない  誓約する　／　誓約しない | 記入表513-2 | 申込者 |

5．配慮事項

　認定の要件ではないが、以下に配慮することが望ましい。

| 認定基準  項目番号 | 記入欄  該当する□にチェックを入れて下さい |
| --- | --- |
| 5.(1)  申込プラントで使用する エネルギー | 申込プラントで使用するエネルギー源は、以下のいずれか  再生可能エネルギーを使用  非化石エネルギーを使用  廃熱を使用  その他【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】  使用していない  使用していないが、導入の計画を策定している  使用または計画を策定しているにチェックした場合には、エネルギー源の種類（例　副生ガスなど）、使用状況(別紙やURL等でも可)、計画をご説明下さい |